

公益財団法人交通エコロジ・モビリティ財団（エコモ財団・岩村敬会長）は6月26日、東京・大田区で「グリーン経営認証リーダー研修会」を開催し、トラック事業者をはじめとする運輸事業者の経営者、管理者、実務者などおよそ180人が集まった。この研修会はグリーン経営認証を取得している事業者に向けて定期的に開催しており、認証取得事業者のグリーン経営の取り組みのサポート、リーダーのレベルアップを図ることを目的としている。今回は今年度2回目の開催となる。

この日は、①エコモ財団の交通環境対策の現状②エコドライブの具体的な進め方③環境に係わる法規制について、廃棄物の排出・処理のポイント④グリーン経営実践事例の紹介——のカリキュラムが組まれた。①では加藤信次・交通環境対策部長が講演し、グリーン経営認証の取得状況や取得の効果、エコモ財団が実施している交通環境対策の説明が行われたほか、今年度から10年継続して認証登録を行っている事業所に対して贈られる「グリーン経営永年登録表彰制度」の紹介も行われた。続く②では菅井秀彦・グリーン経営推進課長代理による、エコドライブに取り組む事業者の事例を交えたエコドライブ実践例の紹介が、また③では吉川博之・グリーン経営推進課長による、産業廃棄物

処理の現状や法律の解説、排出事業者の責務、注意点などの説明が行われた。④では、グリーン経営に取り組んでいる事業者の実践事例発表として、首都圏ロジスティクス岩槻センター・

吉田保次長、

首都圏物流車

輛管理課・中

村雅美課長、

西多摩運送品

質管理部業務

課・小林寛課

長による講演

が行われ、グ

リーン経営を

はじめた経緯

のほか、工夫

を凝らした独

自の取り組み

事例やその成

果などが披露

された。

この研修会

は、来年3月

までに全国で

8回開催され

る予定。



グリーン経営の実践事例発表を行う（右から）首都圏ロジスティクス・吉田氏、首都圏物流・中村氏、西多摩運送・小林氏